事例No.	1910
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県川西市

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・公共施設活用

事例種類	広域化等・指定管理

事例内容・タイトル

市立病院と民間病院の再編

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県川西市】
市立病院と民間病院の再編

広域化等　指定管理　病院事業

兵庫県川西市健康医療部保健・医療政策課

● 取組の概要

赤字が続く病院経営を早急に立て直すため、民間的経営手法を活用した経営形態である指定管理者制度を導入し、市立病院と民間病院の統合による急性期病床の削減及び回復期病床の充実化により医療機能の再編を図った。

◆総事業費　建築工事費、土地、医療機器・器具備品等　227億円

◆背景

- 市立川西病院は、平成14年度以降赤字経営が続くなど、厳しい経営の中で、平成26年度決算において経営健全化団体となり、その後、策定した経営健全化計画の達成に向けて改革に取り組んだが、収支改善には至らなかった。また、市の厳しい財政状況では病院への毎年度約10億円の支援を継続することが限界である状況であったため、病院の立地や経営形態の見直しを含めた抜本的な改革が必要と考えた。

◆具体的内容

- 市立川西病院に民間的経営手法を活用した指定管理者制度を導入した。
- 市立川西病院の指定管理者が経営する民間病院を統合した川西市立総合医療センター（全室個室）を市の中心部に整備した。
- 医療機関の機能分担や連携を推進するため、地域医療連携推進法人を設立した。（令和2年1月に猪名川町の民間病院から、削減予定の病床数の調整を行い、回復期の病院として、市立川西病院跡地に移転することは可能かとの申出があり、参加法人の病院間で病床数調整が可能であるとの情報を得て検討開始。）
- 統合時に削減する民間病院の158床のうち、49床を地域医療連携推進法人内において、民間リハビリテーション病院に移行した。

◆効果

- 医療機能の充実（救急車の市内搬送率の向上など）及び繰入金の大幅な削減。

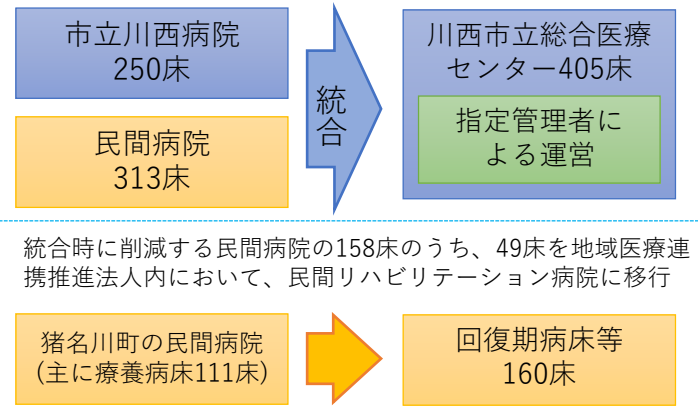
● 取組のポイント

- 再編・ネットワーク化を図ることにより、国からの財政支援が拡充された。
- 市立川西病院職員への対応（指定管理者制度移行に伴い指定管理者である法人職員への移籍、市の事務職員への転籍）。
- 住民の理解を深めるため、検討の初期段階から説明会や出前講座など周知活動を行った。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　151,752人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　31,843km²（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　405床（令和4年9月1日開院時点）

再編・ネットワーク化イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成29年5月　（仮称)川西市立総合医療センター構想案を公表
- 平成31年4月　指定管理者制度を導入
- 令和3年4月　地域医療連携推進法人の設立
- 令和4年9月　川西市立総合医療センター開院
- 令和5年4月　民間リハビリテーション病院開院予定

● 今後の展望

- 安定した経営のもとで、小児、周産期、救急などの政策医療に取り組み、高度急性期病床を一定確保し、医療の圏域内完結率の向上を図る。
- 地域医療連携推進法人等を活用し、切れ目なく医療・看護・介護サービスを提供できるよう、地域包括ケアシステムを構築する。